時事新報

西尊東卑（一昨日の續）

高橋義雄

五六年來我國に於て西尊東卑の勢を成したるは蔽ふ可らざるの事實にして西洋人と云へば上下押並べて通用よく幅がきくと申さんか乃向きが宜しと唱へんか雇西洋人は官吏中特別に取扱はれて言聞かれ謀用ひられたまく〳〵地方に漫遊すれば縣官の遠く相送迎するある等得意の箇條少なからず又民間の商店會社等にても獨逸人を始め其他西洋人の金脈を引くか或は之を雇用する者は廻り〳〵て或る部分の急所を押へるの便利あるが爲め大手筋の注文多くして商賣自から繁昌し洋語を解せざるものは人にして人に非ず學事上に交際上に其需要頗る急なるが爲めに公私學校の中にては水夫風情の西洋人を雇ふて語學教授の大任を托したるものさへあり西洋人の行狀は時に我が公私の禁句に觸るゝも先づ以て寛假さるゝのみと多く例へば鐵道停車場にて日本人が線路を横切れば忽ち叱責を蒙れども西洋人は之を渡りて其向きの小言さへ聞かざるが如き人の能く知る所なり身分卑しけれども西洋人なるを以て上流の社會に容れられ甚だしきは其上高貴に謁するの榮を得るやうの次第あれば上の好む所下之より甚だしく舞踏演劇衣紋髮飾唯何となく西洋風を喜び之を日本風に比較して其精粗優劣を取捨するの暇なく瓊瑤を以て木桃に換へ日本固有の美を捨てゝ武骨殺風景なる西洋の事物を採用するものも多く其眞似らるゝ西洋人が心窃に氣の毒に思ふて傍より其不策を忠告する事さへあり誠に苦々しき次第にして是れも上流社會のみの流行とあれば其流行に流さるゝ最中にも時に本氣を取り直して獨立國人たるの資格を失ふに至らざる可しと雖ども上流の流行延て下流に浸潤するときは彼れ無學無識の輩、自立の特操あるものに非ざれば西洋人は上流の信仰推尊する所にして一種特別の人類なりとて其威風に震懾し其勢を成して知らず識らず對等交際の大義を失ひ陰に陽に奴隷の體裁を呈するの恐れなしと云ふ可らず凡そ世界の人種中には各國人と入り亂れて相觸れ相接するの際に於て自から保つと弱きものあり又甚だ強きものあり其強きものはジエウ人種の如しジエウ人種の氣力に富んで蓄財の技能に長ずるは世界國人の及ばざる所にして從來各國人共に此人種を厭惡して之を窘逐虐遇すると殆んど至らざる所なく他の人種ならんには縱へ其人種を滅絶するまでに至らざるも爲めに大に其人口を減ずると勢の必然なる可きに然るに此ジエウ人種は身に世界人の攻撃を受けて之れに堪ふるのみならず其人口はます〳〵增加し歐米各國到る處に其位地財産を擴張して政事家にはビーコンスフヒールド伯の如きあり資本家にはロスチヤイルド氏の如きあり幾回他人種と雜婚するも子孫の顔貌常にジエウ人特有の骨相を存して他に呑み込まるゝとなく又その人種相保つのと強くして其平素の吝嗇なるにも似ず同人種間公共の病院學校寺院等を維持するの出費は他人種に比して遙に多額ありと云ふ蓋し強硬不屈の人種にして此一點より云ふ[illegible]を世界第一流なりと申して可ならん人數少[illegible]ならずして今日世界中に獨立し然かも大に[illegible]人民は自から[illegible]人種の如くにして始め[illegible]立を維持するのとを得べしと雖ども虚心平氣日本人自から顧みて果して是れ丈けの堅忍強硬なるを證明す可きや由來遠き體格遺傳論は今姑く之を擱き今日只今我日本人の心に發して形に現はるゝ行狀を見るに自ら守て他と相對するの趣なくして我れより迎へて他に容れられんとするの跡あるもの〻如し今日本人と西洋人と相對して何か理屈を爭ふに當り六分の道理を持ちながらも先づ面倒なりとて手を引く者は日本人ならん他人の國自慢を聽聞して今度は此方の順番なりと云ふ處にて兎角遠慮して差し控へる者は日本人ならん遲刻違約等の失敬ありて他の叱責を蒙れども他人に失敬ありたる時に獨り苦笑して止むものは日本人ならん裁判に曲直を爭ふに當り先づ仲裁説を容れて我れより折れ合ふものは日本人ならん又洋行の日本人を見れば衣帽裝飾偏に流行に違ふことを恐れ萬々一にも日本服などを着用するものあらば同胞知己之を忌みて國辱云々の評を下すのと必然にして彼の支那人が國服を服して西洋人を眼下に見下し大手を振りて西洋の市街を横行する其膽勇に對しては聊か汗顔せざるを得ず尤も日本人が西洋風に化して其方向に過敏なるは今日の文明駸々を致したる所以ならん云々と云へば是れ亦自から一説なれども獨立國人として自から守るの固からざるは蔽ふ可らざるの事實なるが如し蓋し輕淡にして頑硬ならず淳疎にして密實ならざるは我が日本人の固有性にして本居翁敷嶋の歌に朝日に匂ふ山櫻はなとあるは邦人氣性の美事にして櫻花朝暾に映ずるの趣あるを道破したるものならんと雖ども細かに之を玩味すれば輕浮淳疎の性質も亦其中に含蓄するを見る可し斯る情實ある其際に上下相卒ゐて西洋流に向ひ狂熱盲進して止まざる時は心、形と共に化して國民獨立の元氣要素も共流行と共に流れ去るとならん抑も我が日本國にて古來大和魂云々の説もありて其愛國心の深きと我も人も共に信ずる所なれども本來之を試驗するの機會なかりしが故に其深淺を測るに由なし蒙古人寇朝鮮征伐等は毎度愛國心云々の引證と爲れども大事に臨んで一時共攻防の責に當るは印度、安南、緬甸等東洋數多の亡國中にも其事例あるとにして獨り日本に限るに非ず眞の愛國心を試驗するの時は内外國人相雜居し政治共に隔り法律共に談じ商賣には利を爭ひ工業には益を競ひ冠婚葬祭花鳥風月相互に苦樂を共にするの時にして一時の愛國心は恃むに足らず長き時日に他と對して頑硬密實共守る所を守り不撓不屈の精神を以て對等獨立の體面を維持す是れぞ眞の愛國心にして此愛國心なきものは一個人々相觸れて相交るの際に於て其亡國の端を開くと東洋古今に其例甚た多しと雖ども我が日本人は未だ此愛國心の深淺を試驗するに及ばず否、今正に之を試驗せんとするの矢先きなれば日本國有の習慣舊例、國民自から區別す可きもの或は殿堂欄楯を始め衣服裝飾の微に至るまで之を見て日本國を懷ひ之を懷ふて日本人の何物たるを銘肝す可きものは心を盡して加護保存せざる可らざる筈なるに然るに今や西尊東卑、上下滔々その流行に流されて獨立國の紀念碑とも申す可き習俗事物を捨て去らんとす何んぞ其れ狂妄の甚だしきや即ち彼の西尊東卑者流を警醒するは今日志士仁人の急務にして愛國の志あらんものは共に力を致す可きものあり

以上一節に記述する所は世上に所謂非西尊東卑者流の説を寄せ集めて其論鋒の向ふ所を示したる者にして其論中自から一理なきに非ず余も或る部分までは同じ論勢の道連れたる可しと雖ども此筋道に猪進して更に一歩を誤るときは彼の平準點を通り過ぎて反動の極端に達するの恐なきを得ず西洋必ずしも尊からず又必ずしも卑からず東西の文明は各々その起原を異にして一長一短、尊卑一方に偏す可らざるの理由あるが故に試に之を次號に陳せん　（以下次號）

雜報

○バルカン半島の諸國は同盟する能はず　中央歐羅巴の諸強國及びバルカン半島の諸國が海陸軍の擴張に忙はしき今日、想像力に富む政論家は再びバルカン同盟論を唱ふるに至り歐洲諸新聞は日々セルヴイアと希臘の同盟に關して記載せり實に局外に立つ人々の目より見ればバルカン半島の諸國が外敵を防ぐ目的を以て同盟を結ぶは至當なるに似たれども諸國の現勢を細に觀察すれば諸國互に反對するの模樣ありてスラヴ、希臘、ルーマニアの人種をして同盟を約せしめんとするは恰も佛國と獨逸に同盟の約を結ばしむる如きものあれば容易に行はるべき事にあらず現に希臘の首相ツリコーピス氏が新聞通信者に物語りたる言に據りて其事情を察するを得べし同氏云く余は同盟を約するの必要を見ざるなり若し同盟せんとすれば其が爲に利益する所のもの無かる可からずと雖ども吾々は爲に少しも公共の利益を享くる能はざるならん我希臘とバルガリヤはマセドニヤに於て早晩決戰せざるを得ず目下バルカン半嶋中にて獨立國の體面を維持するに足るは希臘のみ見よルーマニアは他日大戰爭の起るに至れば自國の運命は如何あらんとて憂慮しセルヴイヤはボスニアの占領以來墺國の爲に制せらる吾々は近隣の強大國の爲に手足を縛られたる諸國と合體して自由の運動を妨げらるゝを欲せず今若し墺國が我國の或る處置に對して非難を容るゝと假定せよ吾々は直に墺國に向て罵り吾々は自國に適當するものを採用せりと答ふべし然るに且つ吾々に干渉し得るは唯英國あるのみ云々と以てバルカン半嶋の同盟する能はざる所以を知るに足らんと云へり

○クレート嶋事件　過日來の本紙上に掲げし電報に見ゆる如く地中海中にある有名の大嶋にして方今土耳古政府の所領なるクレート嶋に關する土耳古、希臘兩國の紛議は次第に其度を高め希臘の方にては海軍の支度に取掛り又英、獨、墺、伊の四強國は嚢に希臘が照會したるクレート嶋事件の廻文に對して外國交渉の事を好まざる旨を返答したれども此事件をして歐洲の平和を妨けしめざる樣の決心をなしゝる趣なるが去月二十日倫敦發の報に據れば希臘の首相ツリコーピス氏は希臘がクレート嶋を占領せんとすれば英國の方にて之を妨げんとするや否や貴下の意見如何と或人より質問せられしかば之に答へて先年英國政府が干渉政略を行ひ我國の運動を束縛せし處置は英人の決して贊成せざる所なりと雖ども英の現政府は機會あらばその干渉政略を再演するの用意をなせりと述たり目下希臘にては戰爭の危難日々に切迫するが故に一朝、事起るの日敢て後れを取らざるの覺悟をなし特に海軍の支度に忙しく又佛國の造船所にて希臘政府の依賴に應じ製造中なる新軍艦三艘あり右の如き有樣あるを以て同國の海軍が土耳古の海軍に匹敵するを得るは遠きにあらざるべく而して同國は既に充分の勝利を得べしと自信せり事態此

(英量) 封度 凡我百二十目　(英尺) 呎 凡我一尺〇五　(英量) 噸 凡我二百六十[illegible]　本 凡我十三貫五百　碼 凡我三尺〇一分　噸 凡我二百七十貫九百五十目　哩 凡我十四町四十五間一尺

○新橋横濱間汽車時刻　新橋發午前六時十分、六時四十分、八時、八時三十五分(急行)、九時四十五分(急行)、十時五十分、午後零時五分、一時二十五分、二時三十分、四時、四時四十五分(急行)、六時十五分、六時五十分、八時三十分、九時五十五分、十一時十五分(急行)●横濱發(新橋に向け)午前六時三十分、七時二十分、八時三十分、九時十五分(急行)、十時二十分、十一時三十分、午後零時五十分、二時、三時三十五分、四時三十分(急行)、五時五分、六時卅五分、七時五十分、九時十分、十時五分、十一時五分(急行)